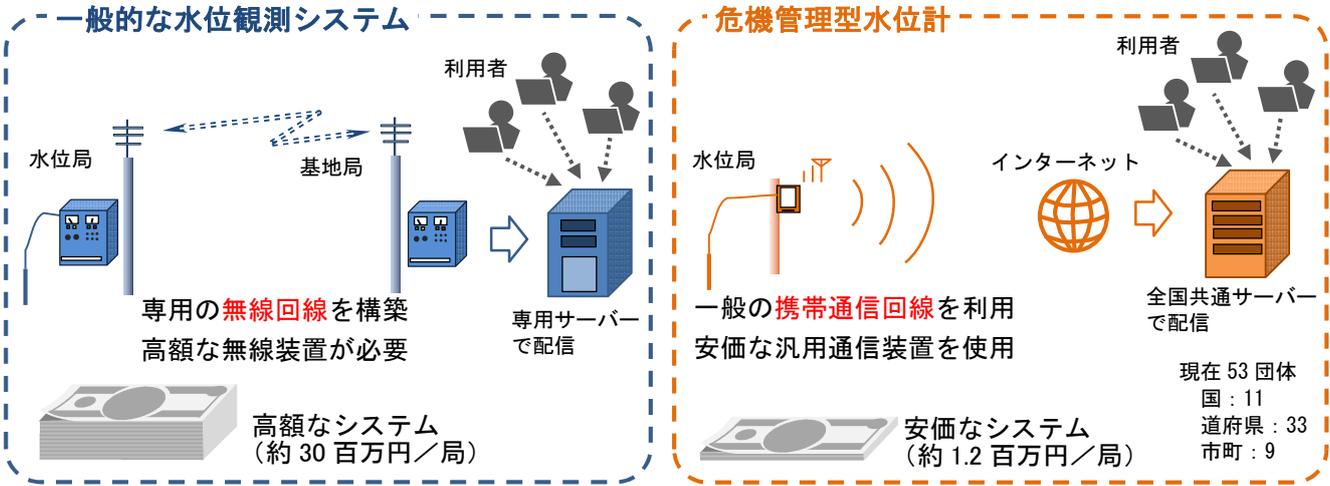


# 危機管理型水位計の活用による水位観測局の増設

## 1. 概要

- 平成30年度に、県下102箇所で危機管理型水位計を活用した水位観測局を新規整備。
- 設置位置は、市町村と調整し、避難判断や水防活動を行ううえで必要な箇所を選定。



## 2. 期待される効果

- 台風や豪雨時に、市町村や地域住民が河川の水位状況をリアルタイムで把握できる。
- 市町村がより迅速に避難勧告等の判断を行うことで、住民の適切な避難が促される。

## 3. 今後の対応

- 「従来の水位計」と「危機管理型水位計」は、水位情報の収集・配信サーバーが異なるため「危機管理型水位計」の水位情報の専用配信ページが構築されている(全国共用運用)。
- 当面は、水位情報の配信が2つの系統に別れるため、水防情報システムにリンクページを組み込み、現システムから閲覧できる環境を暫定的に整備。
- 来年度、水防情報システムに全国共通サーバーとの連携機能を実装し、水防情報システムで水位情報を統一的に配信するための改修を実施予定。

